

文学研究科の概要と特色

文学研究科は、日本語日本文学専攻（博士課程）、英語英米文学専攻（修士課程）、および社会文化学専攻（修士課程）の3専攻からなる。日本語日本文学専攻の博士課程はさらに、修士課程に相当する前期課程と、その上に立って博士学位取得をめざす後期課程に分かれる。

50年近い学部教育の実績のうえに立って、本学は1995年4月、文学研究科・人間生活学研究科の2研究科からなる大学院を開設した。この折に文学研究科では修士課程の日本語日本文学と英語英米文学の2専攻を開き、2年後の1997年4月に日本語日本文学専攻を博士課程として、同修士課程を博士前期課程に改めた。さらに2007年4月、社会文化学専攻（修士課程）を設置した。

日本語日本文学専攻（博士前期課程）と英語英米文学専攻に共通する特色は、ともに文学2分野、語学1分野の研究分野を立て、さらにそれぞれに関係の深い思想領域の科目を配するところにある。すなわち日本語日本文学専攻では、古代中世文学・近世近代文学・日本語学の3研究分野に加え、日本思想史・日本民俗学・中国思想史からなる専門関連科目を開講する。英語英米文学専攻では、イギリス文学・アメリカ文学・英語学言語学の3専攻分野に加えて、聖書学・キリスト教思想を専門関連科目として開く。いずれも、言語と文学が密接なかかわりを持つと同様、思想もまた言語・文学と密接不可分の関係にあることに配慮したものである。また、両専攻とも、専門関連科目内に中等教育の教科教育（国語・英語）に関する特論を置き、教育職員専修免許状取得課程の充実を図っている。

社会文化学専攻では、文学部現代社会学科の2コースとの対応を視野に入れて、社会学および社会史の2研究分野を立てる。これにくわえて、社会言語学・社会文学・文化人類学・社会倫理学・社会哲学の各特論を専門関連科目として、2分野の教育・研究内容がより豊かになるように配慮している。さらに、他の2専攻同様に、社会・地理歴史科教育の特論を設けて、専修免許状の取得に資することとしている。

なお、以上の博士前期課程・修士課程においては、専攻間の交流・相互刺激によって幅広い視野を醸成すべく、他専攻開設授業の単位取得を認めている。

一方、博士後期課程の日本語日本文学専攻では、日本文学・日本語学の2研究分野構成とし、関連分野に日本思想史・日本民俗学・和漢比較文学・キリスト教思想史の各特殊講義を配している。

いずれの専攻も、それぞれの専門領域に必要な高度な研究能力および実践応用能力を確実に身につけるとともに、広い視野をもって人間存在のあり方を問う敏活柔軟な知性の育成を志しており、研究職・教育職をはじめとし、各種の専門職に幅広く適応し得る高度専門職業人の養成を目指すものである。